

平成 21 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 精 工 技 研
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 野 昌 利
(コード番号 6834)
問 合 せ 先 経 営 企 画 室 斎 藤 祐 司
(TEL. 047 - 388 - 6401)

光学デバイス事業の強化に伴う
マイルストーン株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、新規事業として取り組んでいる光学デバイス事業を強化するため、下記の施策を実施する計画でありますので、お知らせいたします。

記

1. マイルストーン株式会社の株式の取得（子会社化）

(1) 株式取得（子会社化）の目的

当社は、創業以来培った精密加工技術と光学技術を基盤に、光ディスク成形用金型や光通信用部品等、情報・通信産業に向けた製品を中心に事業を展開しております。中長期的には保有技術の応用と社外との積極的なアライアンスを通して、今後の市場成長が見込まれる新しい産業分野へ進出し、より幅広い領域で社会に役立つ製品を供給してまいりたいと考えています。

今回増資を引き受けるマイルストーン株式会社は、平成 10 年の設立以来、小型・高性能プラスチックレンズ等を数多く開発し、現在 80 件を超える特許を取得しているベンチャー企業です。同社は平成 19 年に、携帯電話のカメラ等に搭載されるレンズの高耐熱化に成功し、これに係る特許を取得しました。同社が発明した高耐熱レンズ「MSG レンズ」は、カメラ付携帯電話をはじめ、車載カメラや監視カメラ等、多くの場面でこれまでのレンズを代替する可能性があります。当社は、精密加工技術の応用によって、この「MSG レンズ」の製造技術を開発し、レンズという新しい市場へ参入するための足がかりを築くことができました。

当社は、マイルストーン株式会社による第三者割当増資を引き受け、子会社化することによって同社との連携を一層強化し、各種レンズの開発、生産及び関連する事業展開を通して、光学ビジネスをより幅広く推進してまいりたいと考えております。

(2) マイルストーン株式会社（平成 20 年 12 月 31 日現在）

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ① 代表者 | 堂 智 ・ 川野 充治 |
| ② 本店所在地 | 東京都府中市日鋼町 1 - 1 |
| ③ 設立年月日 | 平成 10 年 6 月 15 日 |
| ④ 主な事業内容 | プラスチックレンズ、ガラスレンズの設計・製造・販売 |
| ⑤ 事業年度の末日 | 3 月 31 日 |
| ⑥ 従業員数 | 10 名 |
| ⑦ 主な事業所 | 本社、朝霞開発センター |

⑧	資本金の額	30,000 千円
⑨	発行済株式数	220 株
⑩	当社との関係	
	資本関係・人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社は同社に対して 50,000 千円の貸付金があります。

(3) 第三者割当増資引受の概要

①	引受株式数	普通株式 221 株
②	引受価額	1 株につき 金 480,000 円
③	引受価額の総額	106,080,000 円

(4) 第三者割当増資引受前後の所有株式の状況

①	異動前の所有株式数	0 株	(所有比率 0%)
②	異動後の所有株式数	221 株	(所有比率 50.11%)

2. 杭州精工技研有限公司の新工場建設

(1) 新工場建設の目的

当社は、平成 13 年に中国浙江省杭州市に、製造原価の低減と中国市場への拡販を狙いとして杭州精工技研有限公司を設立いたしました。杭州精工技研有限公司においては、これまで主として光通信用部品を取り扱っておりましたが、昨年からは、新規事業としてMSG レンズの生産立ち上げに取り組んでいます。当社グループでは、レンズを主軸とする光学デバイス事業の一層の拡大に向け、杭州精工技研有限公司の工場用地内に新工場を建設するものであります。

(2) 新工場の概要

①	所在地	中国浙江省杭州市濱江区（杭州精工技研有限公司敷地内）
②	敷地面積	20,000 m ²
③	延床面積	16,389 m ²
④	生産品目	高耐熱レンズ、プラスチックレンズ
⑤	投資予定額	約 3.7 億円

(3) スケジュール

①	工事着工	平成 21 年 1 月
②	建物竣工予定	平成 21 年 12 月
③	操業開始予定	平成 22 年 1 月

3. 今後の見通し

マイルストーン株式会社の子会社化及び新工場建設による平成 21 年 3 月期の当社グループ連結業績への影響は軽微であります。

今後は、マイルストーン株式会社の保有する各種レンズに係る特許を有効に活用しながら、高耐熱レンズと高解像プラスチックレンズの双方の営業を強化してまいります。並行して、カメラ付携帯電話以外に、車載カメラや監視カメラ等の新たな市場の可能性を追求し、事業領域の拡大を目指します。

また、当社のコアテクノロジーである精密金型技術を活用し、杭州精工技研有限公司の新工場にてこれらの成形を行い、中長期的により付加価値の高い事業へと成長させてまいる所存であります。

以 上